

タッチタイピング touch typing とは、キーボードを見ないで両手でタイプする技能です。タッチタイピングを身につけるために、TYPEQUICK という定評あるタイピング練習ソフトウェアを利用して自習してもらいます。麗澤大学では TYPEQUICK Professional (ネットワーク版) を導入しており、学内にある学生用 PC で利用できます (CALL 教室など一部教室の PC を除きます)。

自宅 PC で練習したい場合は、麗澤大学ブックセンターで販売している「TYPEQUICK Professional 学校研修キット USB 版」(販売価格 2,700 円)を購入してください。授業ホームページにあるマニュアルを参考に設定することで、大学 PC と自宅 PC で練習記録データを共有することができます。なお、購入した TYPEQUICK のトラブルについてはヘルプデスクでも対応を受付けますが、原則としてメーカーに直接問い合わせることになりますのでご了承ください。

目標は以下の通りです。テストの日程は事前に公表されるので、計画的に練習を進めましょう。条件を満たさない場合には単位が認められないのでしっかり練習するようにしてください。

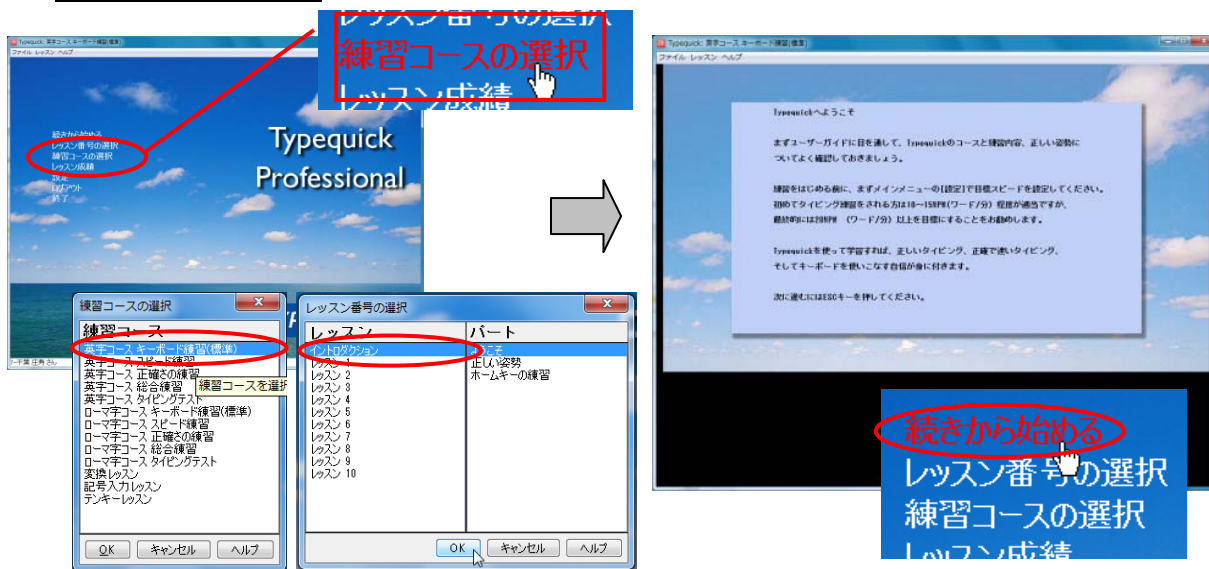
1. ローマ字または英字コースのキーボード練習 (標準) の全レッスン (1~10 まで) を練習すること (各レッスンは A~C の 3 つの部分からなります。全ての部分を練習すること)。外国語学部の学生は、基本的に英字コースを選択するようにしてください。
2. 全てのレッスン、パートについて、18WPM (20WPM 以上が望ましい)・正解率 90%を越えること。
3. 実技テスト (詳細は授業で説明します) に合格すること。

1. TYPEQUICK Professional の起動

- ① デスクトップの TYPEQUICK Professional のアイコン (右図) をクリックします。TYPEQUICK が起動します。



- ② 外国語学部は英文タイピングで実技テストを実施しますので、必ず「英字コース」を練習します。まず、「練習コースの選択」を開き、「英字コースキーボード練習 (標準)」を選択し「OK」を押します。「レッスン番号の選択」は「イントロダクション」を選択し、「OK」を押すことでレッスンが始まります。レッスンは順番に進めてください。2 度目以降は「続きから始める」をクリックして続きを練習します。



- ③ イントロダクションの説明は、「ESC キー」を押すことでスキップできます。

2. TYPEQUICK Professional の終了

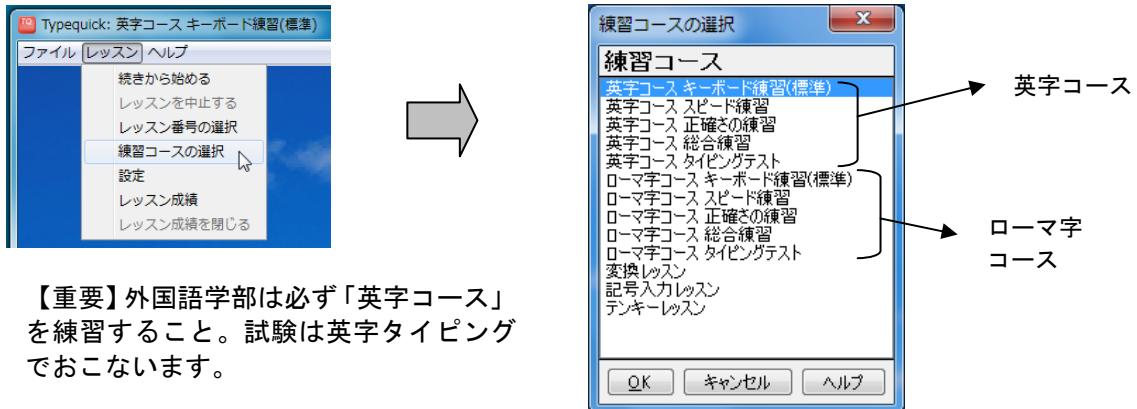
- ① 表示されているメニューから、「終了」を選択します。



- ② 練習を途中で中止する場合には、「ESC」キーを押すと最初のメニュー画面に戻ります。この場合、途中までの練習結果が保存されないことがあります。

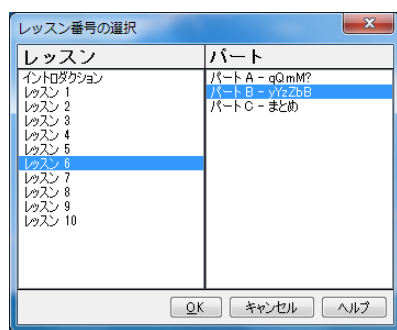
3. 練習コースの変更

- 表示されているメニューから「練習コースの選択」をクリックします。「練習コースの選択」画面から、「英字コースキーボード練習（標準）」などの練習したいコースを選択します。（コース選択は保存され、次にコースの選択を行うまで有効です。）



4. レッスン番号の選択

- メニューから「レッスン」→「レッスン番号の選択」をクリックします。「レッスン番号の選択」画面から、進みたいレッスンや、復習したいレッスンを選択します。レッスン番号の選択はひととおり学習した後の復習に活用するとよいでしょう。（「5. 進捗状況の確認」も参考にしましょう。）
- 標準コースの各レッスン（レッスン1～10）は、それぞれ、3つのパート（パートA～C）で構成されています。やり残しのないように注意しましょう。

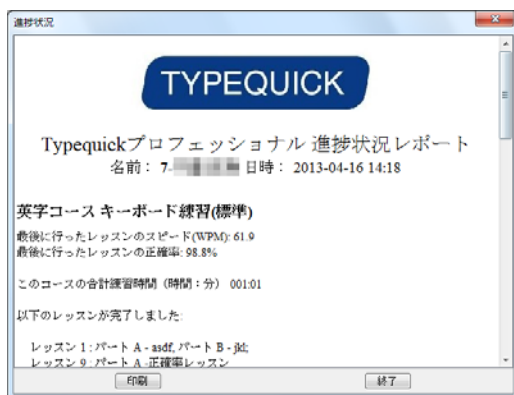


練習のポイント：

- 絶対に「キーボードを見ない」ようにすること。
- 同じレッスンを必要以上に繰り返さない。例えば「レッスン1ばかり練習する」という方法では上達しない。
- 目標に達しなくてもレッスンを先に進めるのが効果的。
- 毎日こつこつ、着実にやることが重要。1日（1回）に何時間も連続して練習しても効果はそれほど上がらない。
- キーの位置を体が覚えるまでは、打つキーを小声で確認しながら練習してもよい。ただし、自習室では他の人の迷惑にならないように注意する。イヤホンでタイプ音を聴き、リズムを意識して練習するのも効果があるようだ。

5. 進捗状況の確認

- メニューから「ファイル」→「進捗状況レポート」で、左図のような進捗状況レポートが表示されます。また、「レッスン」→「レッスン成績」を押せば、各レッスン・パートの成績一覧や、キーごとの詳細レポートを表示できます(右図、「閉じる」で戻ります)。適宜確認してください。



- これらの成績レポートは印刷することも可能です。途中経過を提出してもらいますので、教員からの指示があったら必要なレポートを印刷して提出してください。
※ 「3. 練習コースの選択」で選択した現在練習中のコースのレッスン成績が印刷されることに注意してください。（以上）